

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		平成13年度～		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問	担当課(室)	秘書調整課
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち			職・氏名	係長 行正英仁
	小項目	施策	37	地域情報化の推進			先	電話
事務事業名		01		情報インフラ整備事業		このシート作成に要した時間		3.0 時間

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	インターネットや携帯電話などの情報インフラの利用者		
目的(何のために)	情報格差(デジタル・ディバイド)の是正・解消		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	携帯電話不感エリアの解消 ブロードバンド環境の充実(ブロードバンド世帯カバー率の向上)		

事業の実績		事業の説明		優先度	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度	
	ラストワンマイル対策業務	超高速インターネットが利用できない地域の解消を図るため、通信事業者や携帯電話事業者へサービス展開や改善の要請、また支援を行った。		◎	
	携帯電話不感地域対策業務	携帯電話が使えない不感エリアの解消を図るため、携帯電話事業者へサービス展開や改善の要請、また支援を行っている。		○	

事業費等		単位		平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績	
決算額	事業費	千円	0.10人	853	0.04人	317	0.07人	493	493
	必要人員	人	件	費	費	計	計	計	計
	国県支金	千円							
受入金	千円								
経費	千円								
市債	千円								
その他( )	千円								
一般財源	千円								
受益者負担比率	%			853		317		493	
結果指標名	単位	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績			
超高速ブロードバンド世帯カバー率	説明	超高速インターネットサービスが利用可能な世帯の割合							
結果指標	結果指標量	%	38.3%	38.3%	50.0%				
	対前年比	%	-	100.0%	130.5%				
	活動コスト	円	853,000	317,000	493,000				
	単位当たりコスト	円	2,227,154	827,676	986,000				

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
超高速ブロードバンド世帯カバー率	目標値(A)	35	40	45	55	
	実績値(B)	38.3	38.3	50	到達目標値	
	達成率(B/A)	109.43%	95.75%	111.11%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市内における超高速インターネットサービスが利用可能な世帯の割合						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	A

進行年度(H26年度)の改革改善内容	
状況	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	片上・伊部・香登・西鶴山・日生地区(各地区とも一部地域を除く)で光通信サービスが利用できるようになっており、また、新技術によりさらなる高速化が見込まれることから、引き続きサービスの展開を通信事業者へ働きかけていくとともに、通信事業者への財政的支援も含め検討していく。

総合評価	
市内の携帯電話不感エリアは解消され、携帯電話のデータ通信を含めるとブロードバンドゼロ地域も解消できている。 今後は、市民の方からニーズの高い光通信サービスのさらなる展開を進めていく必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い A

平成27年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	データ通信技術は年々進化しており、さらに高速な通信網が整備されていくものと思われる。 次世代通信の情報収集を行うとともに、市内での光通信サービスの展開について引き続き通信事業者へ働きかけや支援を行っていくなどサービス提供エリアの拡大を推進する。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな